

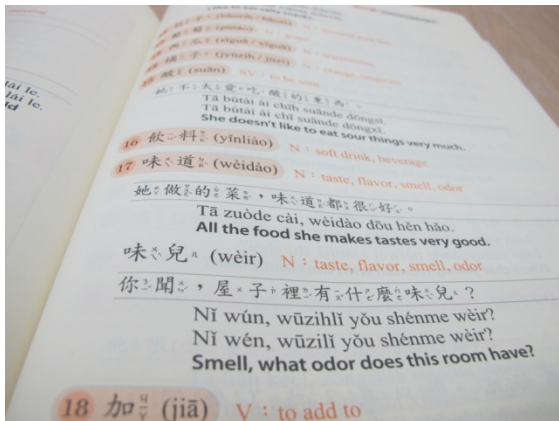
台湾留学

こんにちは。私は台湾大学(National Taiwan University)に留学中の九大生です。九州大学から台湾大学への留学は私が初めてだということで、台湾大学への留学について、紹介したいと思います。ここでは簡潔にいくつかの項目にわけて書いてみようと思います。

① 言語について

台湾での共通語は、北京語(中国語)です。台湾では地域によって、昔から台湾語、客家語等が話されてきましたが、現在、都市で一般的に使用される言語、また、台湾の教育に用いられる言語は、北京語となっています。台湾で使用される北京語は、基本的に大陸中国で使用されている北京語と同じものです。違う点は四点<(1)台湾なまりのアクセント (2)台湾方言の単語や言い回し (3)簡体字ではなく繁体字 (4)ピンインではなく注音>です。

ですが、外国人向けの言語学習には、ピンインが使用されますし、学習する単語も中国で使用されるものです。ですので、語学留学としても、台湾は十分にお勧めです。



(中国語の授業テキスト)

② 授業について

台湾大学での授業は主に二つです。一つ目は、大学付属の言語センターでの中国語。これは、Day class(2時間×5日/週)と Night Class(3時間×2日/週)から選択できます。1~5までのレベル別の授業となっており、一クラス4~10人程度の少人数制となっています。九州大学から交換留学した場合、初めの一学期分は無料ですが、次の学期からは実費となります。

二つ目は、台湾大学での授業です。主に留学生向けの英語での授業と、北京語での台湾人の通常授業、どちらからの選択も可能です。

(<https://nol.ntu.edu.tw/nol/coursesearch/index.php?lang=EN>) 北京語が得意な留学生は、北京語での授業をとったり、聴講だけする学生もいます。英語での講義は西洋ス

タイトルで、毎週のように課題があり、グループワークが多かったです。

どちらも必須ではなく、留学生の最低単位数というのはありません。ですので、中国語の授業を取って、大学の授業はとらない、もしくは聴講のみ、というのも、逆に、大学の授業をたくさんとって中国語の授業はとらない、というのも可能です。



(大学の正門)

③ 寮について

留学生はだいたい皆、同じ寮に住んでいます。私が住んでいる水源 BOT 寮は築 2 年目の建物で一人部屋でした。家賃は一ヶ月 7,100 元(約 21,300 円)で、電気代別です。部屋には、机、ベッド、シャワー、トイレ、エアコン(暖房なし)、クローゼット、冷蔵庫などが付いています。食事やキッチンが付いていないので、外食になります。寮は大学の正門から歩いて 10 分の場所にありますが、回りにはたくさんお店があり、台湾は外食文化なので、困ることはありません。訪問者は午前 7 時～午後 11 時までと規定がありますが、寮生自身の門限はありません。受付には 24 時間交代で人がいるので、安心して暮らすことができると思います。



(寮の部屋 1)



(寮の部屋 2)



(寮の外観)

最後に

台湾大学は、留学生受け入れの設備も体制も整っているのであまり困ることはないと思います。留学の最初は、台北桃園国際空港まで大学からバスで迎えに来てくれる仕組み(グループピックアップ)になっており、着いたら寮のチューターさんが手続きを手伝ってくれます(どちらも事前に希望を出した場合のみ)。寮とは別に、もう一人、こちらにも事前に希望を出した場合のみですが、チューターさんを大学が用意してくれます。大学の授業が始まる前に、生活に必要な買い物や手続きを手伝ってもらえると思います。オリエンテーションやサークル部活説明会などのイベントもあり、友達も作りやすいと思います。

台湾はとても住みやすく、便利の良いところです。ビザも申請から、基本的に問題がなければ1日でおります。そして台湾大学は勉強面での施設も整っているのです、これから留学しようと考えている人にはぜひ選択肢に入れてほしいと思います。